

北イタリア安全対策情報（2016年10月～12月）

1 社会・治安情勢

当地近隣諸国では、12月下旬に独ベルリンにおいてトラックを使用したテロ事件が発生しているが、当地では、主たる観光地において、軍と警察が合同で警戒を強めており、当地治安当局は具体的なテロの脅威はないと発表している。

また、当地治安当局は、テロ予備軍となり得る者やインターネット上でテロの扇動を行った者等に対する捜査を進めており、こうした者を国外退去処分することにより、テロ対策に取り組んでいる。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪の傾向

ミラノ周辺の観光地、ターミナル駅及び列車内におけるスリ及び置き引きの被害が多く発生している。当地ではグループ犯によるスリ事件や置き引き事件が多発しており、被害者の多くは犯行前からグループにより付け狙われている様子がうかがえる。

また、旅行者のタイヤをパンクさせ、タイヤ交換中に荷物を盗む車上狙いも発生している。

(2) 邦人被害事案

当館ホームページ「日本人の被害状況」参照

(3) 邦人以外の被害事案

ア 強盗・恐喝

(ア) 10月4日午後1時頃、ミラノ市アモレッティ通りのスーパーマーケットで500ユーロを奪った男が逮捕された。

(イ) 10月5日、午前10時頃、コモ県カスナーテ・コン・ベルナーテの路上で警察官に扮した3人組が22億ユーロ相当のハードディスクを積載したバンの運転手を拳銃で脅し同行を求めたが、逮捕された。

(ウ) 10月12日午前8時35分頃、ミラノ県ローからロンバルディア州モンツァまでの高速道路間で、警備会社の現金輸送車が襲われ、200万ユーロ相当の貴金属等が奪われた。

イ 殺人

(ア) 10月16日、コモ県ローデロの森林で女性の遺体が発見されたが、19日親族の男が逮捕された。

(イ) 11月10日午後11時頃、ミラノ県北東部のモルベーニョ居住の男性2人が殺害された。

(ウ) 11月12日午後7時頃、ミラノ市ロレート広場で男性が殺害された。被疑者は12月5日逮捕。

- (エ) 11月27日夜、ミラノ市ボルシエリ通りのレストランの調理師が4人組の男に腎臓をナイフで刺され、被疑者らはトラムで逃走したが、逮捕された。
- (オ) 11月30日午後0時半、ミラノ市サルピ通り（中華街）に所在するアパートで男性が殺害された。
- (カ) 12月5日、ミラノ市ナビリオ地区において、殺害された女性が発見された。

ウ その他

- (ア) 10月15日夜、ミラノ市ナビリオ地区の飲食店の外で女性がバッグをひったくられたが、犯人は通行人により逮捕された。
- (イ) 10月17日夜、ミラノ市内ビンダ通りで38歳の男が5キログラムのコカイン所持により逮捕された。
- (ウ) 10月26日、ミラノ等6都市に不審な黄色の粉末入りの封筒が送付された。
- (エ) 10月28日、ミラノ県ジビード・サン・ジャコモでコカイン27キログラムを所持していたマフィア関係者が逮捕された。
- (オ) 10月29日夜、ミラノ市内のアパートを狙った連続窃盗犯4人のうち3人が逮捕された。
- (カ) 11月9日午後0時頃、ロンバルディア州クレモナ駅でマントヴァ行きの電車に乗った女性が、ナイフでのど元を切りつけられる被害に遭った。
- (キ) 11月15日、ミラノ県モンツァに所在するアパートに2人組の泥棒が侵入し、貴重品を盗んだが1人が逮捕された。
- (ク) 11月27日午前2時半頃、ミラノ市ナビリオ地区で男性グループ同士の喧嘩が発生し、1人が重傷のため入院した。
- (ケ) 12月4日午前8時、ジョギング中の女性がわいせつ目的で襲われたが、同居人により被疑者は逮捕された。
- (コ) 12月8日、ミラノ市サンシーロサッカー競技場で開催された欧州選手権において、一部のファンが暴徒化し、12人が逮捕された。
- (サ) 12月11日深夜、ミラノ市ロレート広場において喧嘩が発生し、1人が瓶で頭を殴られ重傷を負った。
- (シ) 12月9日、11月にベルガモで発生した窃盗事件の犯人4人が使用していた車両がミラノ市内サン・ドナート駅近くで発見され、警察の追尾により犯人が逮捕された。
- (ス) 12月16日、コモ県で長年居住していたチュニジア人男性が、ISのプロパガンダを行ったとして、国外追放処分となった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 邦人被害事案

なし

(2) 邦人以外の被害事案

なし

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし